

1. 件 名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 新型転換炉原型炉
ふげん及び高速増殖原型炉もんじゅの原子力事業者防災業務計
画の修正の検討について

2. 日 時：令和3年5月18日 13:32 ～ 15:15

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

宮地防災専門官

(以下、テレビ会議システムによる出席)

児玉企画調整官、落防災専門官、平野室長補佐

日本原子力研究開発機構 敦賀廃止措置実証本部

安全・品質保証室 技術主幹 他7名

5. 要 旨

日本原子力研究開発機構から、新型転換炉原型炉ふげん及び高速増殖
原型炉もんじゅの原子力事業者防災業務計画の修正として、以下を検討
しているとの説明があった。

- ・原子力防災管理者の代行に係る記載の変更
- ・原子力災害の拡大防止を図るための措置に関する変更
- ・防災要員の職務と配置に関する変更
- ・緊急事活動レベル(EAL)の変更(もんじゅのみ)
- ・その他、記載の適正化 など

原子力規制庁より、原子力防災管理者の代行に係る記載の変更につい
て、防災業務計画等命令及び保安規定を再確認するよう伝えた。また防災
要員の職務と配置に関する変更については派遣する要員数を整理し、同
計画書内で整合性を解り易く表現すること、更には両事業所の同計画書
で記載の整合性も図るよう伝えた。

日本原子力研究開発機構から、今回の指摘を踏まえ、引き続き検討する
とのことだった。

原子力規制庁より警戒事態該当事象発生時における原子力規制庁緊急
時対応センターへの要員派遣について、記載追加の必要性を確認したと
ころ、日本原子力研究開発機構からは、法的要求がないため記載しない旨
の回答があった。

6. その他

配布資料

資料1：令和3年度 原子力事業者防災業務計画修正に係る主な修正点
(高速増殖原型炉もんじゅ、新型転換炉原型炉ふげん)